

令和1年8月27日

氷見市長 林 正 之 様

住所 氷見市胡桃3098

胡桃自治会

自治会長 谷内田重次

森 昭市



耐雪型侵入防止金網柵導入支援申請書

拝啓 いつもご指導、ご支援を賜りまして誠に有難うございます。
平成31年度において、猪・狸進入被害防止事業を実施したいので
下記被害状況書と添付図書にてご説明いたします。

電気柵の現状把握

- イ、導入から8年経過、ポリワイヤースチール線の断線多くなった。
- ロ、牧柵器の故障が多くなってきた。1器の修理費1万～2万円。
- ハ、導入4年目くらいから進入し、糞やハトムギ実を食して学習した為、近年は被害面積が広がった。

被害状況

- ① 水稻被害は次頁に添付の水稻共済金支払通知書記載のように176万円です。被害面積は110反です。
- ② ハトムギは共済金制度が無いので概算被害額70万円です。被害面積は概算15反です。
- ③ 昨年の畦畔法面掘り起し土砂の復元作業は高さ平均3M×幅÷40分Mでの です。
上記以外は、人手と機械がなく何も出来なかった。
①+②+③=266万円となります。

被害状況での考えられる将来像

- 1 法面崩壊水田枚数は3月8日現在60枚で人間での復元枚数は20枚、残りは法面が3m以上から10mと長くて高い為建設機械を使用しないと復元が不可能です。
建設機械を使用すると概算70万円と考えられます。
- 2 公共機関（公的部署）は作物被害の費用対効果ばかりを気にして、掘り起し復元被害額をカウントしないと、あるべき姿（一番苦しい事）を見落すことになります。
- 3 私ども危惧している事は、復元意欲が無くなり、荒廢地になることを一番恐れています。

以上のことから、対策は耐雪型侵入防止金網柵導入が良作と考えています。

【添付図NO-3】は電気柵取付圃場図で述べ長さは1.4Kmです。
耐雪型侵入防止金網柵資材のご支援を宜しくお願い致します。

敬具



